

人権文化担い手塾「学習プログラム・運営マニュアル」(概要案)目次

07/2/19 市民社会研究所

全体解説(趣旨・構成)

P - 1 地域リーダーとは誰か～地域リーダーの見つけ方

迫間地区モデル事業

P - 2 人権の基礎理解(主として指導者用)

常磐地区モデル事業

人権の基本概念と人権理解の問題点(坂東・安達)

- ・ 歴史、分類、法的位置づけ
- ・ 人権に関するエピソードなど

現代の地域社会と個人の尊重(松井)

- ・ 価値観の多様化と現代の地域社会
- ・ 日本社会と人権 「世間」について

理解を深めるための意見交換・ワークショップのテーマ(よくある問題事例から)

項	目	担当者
・ 個人情報とまちづくり		坂 東
・ 「権利ばかり主張するのではなくて義務も」という意見		坂 東
・ 「男と女は違うのだから男女平等はおかしい」という意見		松 井
・ 「女性が社会進出すると子どもの教育上悪影響がある」という意見		福 本
・ 「外国人が多いと犯罪が増える」「外国人は怖い」という意見		金
・ 「外国人が多いと子どもの教育上悪影響がある」という意見		小 林
・ ホモネタはお笑いのネタとして許されるか		小 林
・ 意見の主張と安全圏		松 井
・ 差別はなぜなくなるのか		清 水
・ 「思いやり」と「人権」		中 島

* 価値観の押しつけにならない自由な議論を尊重しつつ、指導者としての的確に介入するための視点を与える。

P - 3 上手な司会者となるために(主として地域リーダー用)(小林)

常磐地区モデル事業

ファシリテーション技法のエッセンス

アイスブレイキングの事例集

問題事例と解決方法

P - 4 人権の視点をもったまちづくりの方法(主として地域リーダー用)

ケースワーク1(松井)

伊賀市上野西部地区モデル事業

ケースワーク2(松井)

伊賀市柘植地区モデル事業

ケースワーク3(清水)

従来のもちづくりの点検(四日市市などの事例)